

自立への第一歩

伊勢丘幼稚園では毎年4月から、年長組になるとその中の何人かが、小学校の登校班と一緒に登園するようになります。

3月までは、おうちの人と手をつないで登園していた子が、小学校のお兄さんやお姉さんと手をつないで小学校の校門まで歩いてきます。そこからは一人で道路の端を歩いて幼稚園まで歩きます。不安そうに歩いてくる子もいましたが、ほとんどの子は笑顔で足取り軽く登園してきます。4月の初めには保護者の方も、子どもから少し離れたところを歩かれたり、子どもを家から送り出した後、幼稚園に先回りして登園してくる様子を見守られたりするなど様々な形で子どもが自立するのを応援しておられます。「自分の力で自分のことができるようになる」ために、親も子も努力しています。こんな挑戦が安心してできる伊勢丘学区に感謝です。

次に、4月の子どもたちの活動をご紹介します。

4月8日（月曜日）始業式をしました。

2週間ぶりの幼稚園。赤い帽子が黄色の帽子に変わり、年長組になった園児が元気よく登園してきました。カバンをロッカーにいれる等の朝の準備ができた子から、園庭に飛び出してきました。何をして遊ぼうかと迷うこともなく、友達とブランコや砂場で遊びに夢中になっていました。

しっかりと遊んだ後は、今年度の始まりの始業式です。先生の話もしっかりと聞くことができました。式の終わりには、先生から黄色の新しい名札を一人ずつ胸につけてもらいました。どの子も、緊張した表情でした。年長組としてのスタートです。



4月18日（木曜日）今年度初めての参観日でした。

ばら組（年少組）12名が入園して1週間。幼稚園での子どもたちの様子をおうちの人に見ていただきました。

朝の支度も少しずつ上手になり、幼稚園での生活に慣れてきていました。しかし、この日はおうちの人幼稚園にいます。ほとんどの子がおうちの人から離れることがなく、静かに遊んでいました。その後、教室に入り親子でふれあい遊びをしました。子どもを愛おしく思う気持ちが高まったようです。

